

講義名称	コミュニケーション論	担当教員名	久林 純子
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	キャリア	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SC0168

授業のキーワード	コミュニケーションとは何か？自己と他者の人間形成には何が必要か考えます。
授業の概要	言語を必要とするコミュニケーションと非言語コミュニケーション。ともに必要なマインドやフィジカル、スキルや知識を多方面からアプローチします。ワークショップや発表が中心となります。
期待される学習成果 (目標)	表面的な会話に終始しない「深い」コミュニケーション力について理解し、毎日の生活で活用し、意識を高くもてるようになることを目指します。自らの人間関係の構築に役立てるようになるのが望ましい。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	コミュニケーションとは何か、動機付けについて紹介します。マズローの5段階欲求を使います。
2	コミュニケーション・イントロダクション	偏愛マップを活用し、円滑なコミュニケーションに必要な要素を考えます。
3	コミュニケーションの基礎知識 1	自己紹介と他己紹介を行い伝達と承認についてズレを考えます。
4	コミュニケーションの基礎知識 2	言語、非言語コミュニケーションをメラビアンの法則を踏まえ伝わる声や姿勢を考えます。
5	コミュニケーションの基礎知識 3	印象形成や伝わる話し方、傾聴レッスンによりラポールを築くことを目指します。
6	言語伝達 1	聴覚からの情報を、視覚に落とし込んで提示するのに必要な「流れ星」のワークを行います。
7	言語伝達 2	「図形伝承」のワークをおこなう。グループごとに分け、意見交換をし発表します。
8	パブリックスピーキング 1	公の場での会話。話し方のルールを学ぶ。声のタイプとレッスンについて実践します。
9	パブリックスピーキング 2	名詞交換の作法や敬語について学びます。
10	コミュニケーションの応用 1	アサーションを取り入れたコミュニケーションについて学びます。
11	コミュニケーションの応用 2	交流分析を通して自分のタイプを知り、それによつての伝達・対応の違いを考えてみます。
12	事例考察 1	主語表現の違いによるコミュニケーションの差異について考えます。
13	事例考察 2	2018年の新語流行語大賞の言葉とSNSコミュニケーションなども考察します。
14	バーバルコミュニケーション	言語領域のコミュニケーション力養成のための名作講読。明治～昭和初期の作品を扱います。
15	まとめ	講読の続きと、講義を通してのコミュニケーションについてのまとめ。

定期試験	あり。 講義内容を踏まえての筆記試験。
授業時間外学習	講義内容を踏まえて、積極的に実践してほしい。
評価方法	講義での様子や提出物課題40%、定期試験60%
使用する教科書 (必ず購入してください)	講師作成資料を使用
参考文献	『幸せを呼び込む運氣アップのコミュニケーション術』久林純子著 (キンドル出版)